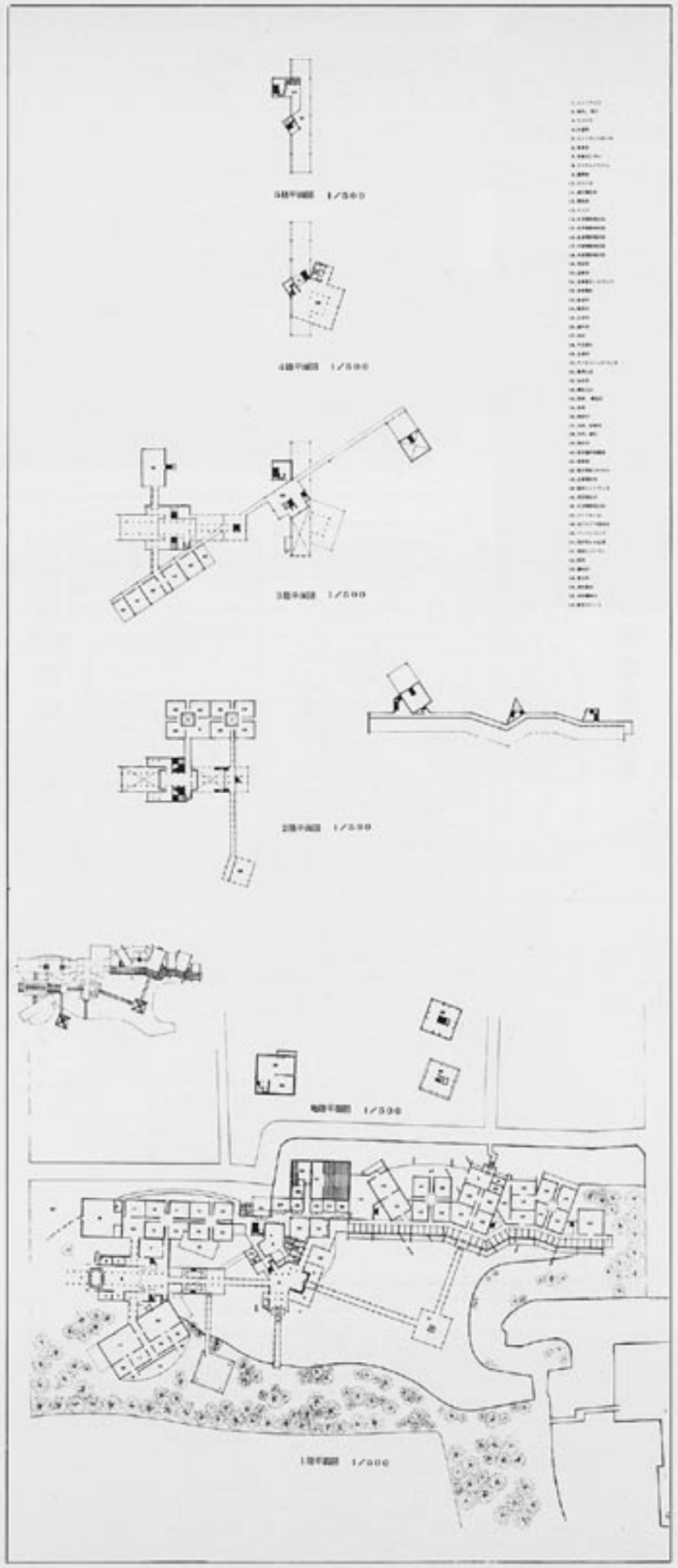
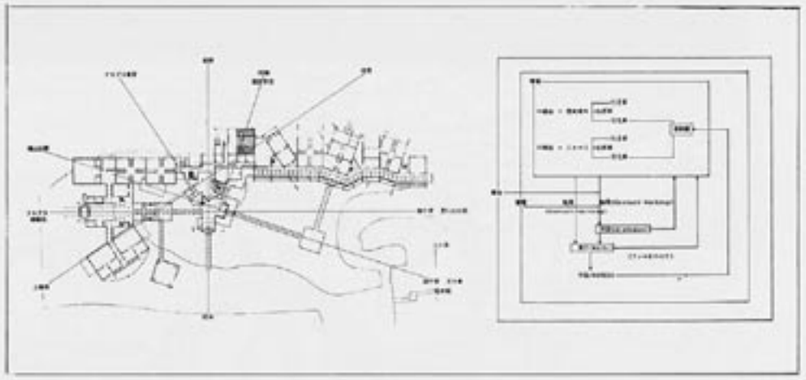
# 現代情報の拠点となる美術館

松本市内・歴史的・文化的地域に建つ

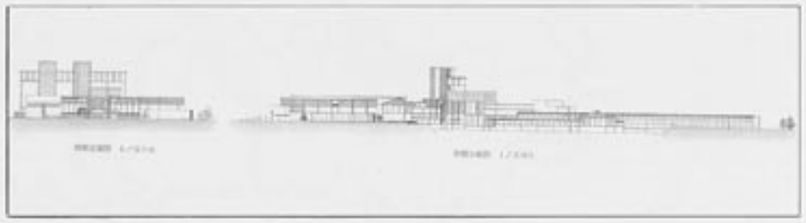
百瀬　渡



外観（展示エントランス，城内公園部分　パース



展望露台から，松本城を見る



■設計主旨

来館者は社会・生活・文化の情報に接することによって触発（Contact-Working）される。さらには、展示そのものによる触発もある。そして、対話をし、行動にうつす。これらはすべてフィードバックされるべきで、本計画ではそれらの用途を充分に機能化している。